別紙様式１

平成２５年度　事前評価実施地区一覧表

(1)国有林直轄治山事業

森林管理局　四国

整理番号	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益B（千円）	総費用C（千円）	分析結果B／C	チェックリスト																					備考
									Ⅰ 必須事項					Ⅱ 優先配慮事項																
														1 有効性			2 効率性	3 事業の実施環境等												
									1	2	3	4	5	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(4)					(5)				
																					①	②	③	④	⑤	①	②	③		
1	徳島	徳島署	復旧治山	菅生5	すげおい	324,288	46,434	6.98	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	B	B	A	B	A	C	―	C	―	C		
2	徳島	徳島署	復旧治山	塔の丸2	とうのまる	224,322	115,391	1.94	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	C	―	A	―	C		
3	高知	四万十署	復旧治山	奥川山	おくかわやま	183,171	69,378	2.64	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A	C	―	C	―	C		
4	高知	四万十署	復旧治山	島ノ川山2	しまのかわやま	350,293	128,339	2.73	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A	C	―	C	―	C		
5	高知	嶺北署	復旧治山	午蕚谷山	ごぼうだにやま	360,266	87,099	4.14	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A	C	―	A	―	C		
6	高知	嶺北署	復旧治山	仁尾ヶ内山	におがうちやま	303,174	106,974	2.83	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	B	B	A	B	A	C	―	A	―	C		
7	高知	安芸署	復旧治山	矢筈谷山2	やはずたにやま	187,172	137,024	1.37	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A	C	―	A	―	C		
8	高知	安芸署	復旧治山	八度山	やたびやま	693,659	162,616	4.27	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A	C	―	C	―	C		

別紙様式２

整理番号　1

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	菅生5地区（すげおい） （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、徳島県西部の三好市東祖谷一級河川吉野川水系祖谷川の上流域に位置している。 地質構造は、御荷鉾構造線と仏像構造線に挟まれた秩父帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。 平成16年8～9月にかけての台風に伴う集中豪雨（2ヶ月累計降雨量1,542㎜：観測点京上）により、山腹崩壊が発生し、直下の渓流に大量の不安定土砂が堆積している状況である。 今後の降雨によっては、崩壊地の拡大や堆積している土砂の流出により、下流域の家屋及び国道439号線への被害も懸念される。 このことから 不安定土砂の発生源である山腹崩壊地を復旧することにより、地域住民等の安全・安心を確保することを目的とする。 ・主な事業内容　山腹工0.46ha ・主な保全対象（治山事業）　家屋10戸、国道439号線300m ・総事業費　50,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　324,288（千円） 総 費 用（C）　46,434（千円） 分析結果（B／C）　6.98
森林管理局事業評価技術検討会の意見	山腹崩壊地等を復旧することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。 なお、当地区の事業実施に当たっては、国定公園、自然休養林、緑の回廊に指定されていることから特に、環境に配慮した事業とすることが望ましい。
評価結果	・必要性：　このまま放置すれば集中豪雨等により崩壊地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、崩壊斜面の安定化が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 徳島

施行箇所： 徳島県三好市　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵(かん)養便益	洪水防止便益	6,770	
	流域貯水便益	2,539	
	水質浄化便益	6,089	
山地保全便益	土砂流出防止便益	238,411	
	土砂崩壊防止便益	70,479	
総 便 益 （B）		324,288	
総 費 用 （C）		46,434	千円
費用便益比	B÷C＝ 324,288 / 46,434 ＝ 6.98		

別紙様式２

整理番号　2

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	塔の丸2地区（とうのまる） （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、徳島県西部の三好市東祖谷一級河川吉野川水系祖谷川の上流域に位置している。 地質構造は、御荷鉾構造線と仏像構造線に挟まれた秩父帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。 平成24年6～7月にかけての梅雨前線に伴う降雨（2ヶ月累計降水量866㎜：観測点京上）により、山腹崩壊が発生し、直下の国道439号線に被害を及ぼした。 今後の降雨によっては、荒廃の拡大等により、地域住民等の重要な生活道である国道439号線への被害も懸念される。 このことから山腹工及び渓間工を施工し、崩壊地の復旧、土砂の流出防止等を図り、もって地域住民等の安全・安心を確保することを目的とする。 ・主な事業内容　渓間工1基、山腹工0.30ha ・主な保全対象（治山事業）　国道439号線400ｍ ・総事業費　124,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　224,322（千円） 総 費 用（C）　115,391（千円） 分析結果（B／C）　1.94
森林管理局事業評価技術検討会の意見	山腹崩壊地等を復旧することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。 なお、当地区の事業実施に当たっては、国定公園に指定されていることから特に、環境に配慮した事業とすることが望ましい。
評価結果	・必要性：　このまま放置すれば、今後の集中豪雨等により、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚及び崩壊斜面の安定化が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名: 徳島

施行箇所： 徳島県三好市　　（単位:千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵(かん)養便益	洪水防止便益	2,382	
	流域貯水便益	900	
	水質浄化便益	2,149	
災害防止便益	山地災害防止便益	218,891	
総 便 益 （B）		224,322	
総 費 用 （C）		115,391	千円
費用便益比	B÷C＝ 224,322 / 115,391 ＝ 1.94		

別紙様式２

整理番号　3

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	奥川山地区(おくかわやま) （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県南西部土佐清水市の二級河川貝ノ川川上流域に位置している。 地質構造は、四万十帯に属し基岩は砂岩、泥岩で褶曲、破砕が激しく脆弱な地質である。 平成23年7月の台風6号等に伴う集中豪雨（7月降水量595㎜：観測点三崎）により渓岸及び渓床が侵食され、小規模な山腹崩壊もあることから大量の不安定土砂が渓流内に堆積している状況である。 今後の降雨によっては、大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により、下流域の林道への被害も懸念される。 このことから山脚の固定と不安定土砂の流出を防止するため渓間工を施工し、保全対象の保護及び荒廃渓流の復旧を図ることを目的とする。 ・主な事業内容　　渓間工3基 ・主な保全対象（治山事業）　林道300ｍ ・総事業費　　75,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　183,171（千円） 総 費 用（C）　69,378（千円） 分析結果（B／C）　2.64
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。
評価結果	・必要性：　渓床に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚の固定及び渓床の安定が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所： 高知県土佐清水市　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵（かん）養便益	洪水防止便益	6,189	
	流域貯水便益	2,210	
	水質浄化便益	5,281	
山地保全便益	土砂流出防止便益	122,768	
	土砂崩壊防止便益	46,723	
総 便 益 （B）		183,171	
総 費 用 （C）		69,378	千円
費用便益比	B÷C＝ 183,171 / 69,378 ＝ 2.64		

別紙様式２

整理番号　4

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	島ノ川山2地区(しまのかわやま) （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県中西部高岡郡中土佐町の一級河川四万十川水系島ノ川上流域に位置している。 地質構造は、四万十帯に属し基岩は砂岩、泥岩で褶曲、破砕が激しく脆弱な地質である。 平成21年8月の豪雨（8月降水量717㎜：観測点船戸）により渓岸及び渓床が侵食され、小規模な山腹崩壊も点在することから大量の不安定土砂が渓流内に堆積している状況である。 今後の降雨によっては、大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により、下流域の林道への被害も懸念される。 このことから山脚の固定と不安定土砂の流出を防止するため渓間工を施工し、隣接する津野町への峰越林道の通行を確保すること等を目的とする。 ・主な事業内容　渓間工7基 ・主な保全対象（治山事業）　林道400ｍ ・総事業費　144,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（Ｂ）　350,293（千円） 総 費 用（Ｃ）　128,339（千円） 分析結果（Ｂ／Ｃ）　2.73
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。
評価結果	・必要性：　渓床に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚の固定及び渓床の安定が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便 益 集 計 表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所： 高知県四万十町　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵（かん）養便益	洪水防止便益	6,877	
	流域貯水便益	4,200	
	水質浄化便益	10,058	
山地保全便益	土砂流出防止便益	261,154	
	土砂崩壊防止便益	68,004	
総 便 益 （B）		350,293	
総 費 用 （C）		128,339	千円
費用便益比	B÷C＝ 350,293 / 128,339 ＝ 2.73		

別紙様式２

整理番号　5

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	午蒡谷山地区(ごぼうだにやま) （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県北東部長岡郡本山町北部の一級河川吉野川水系立川川上流域に位置している。 地質構造は、中央構造線と御荷鉾構造線に挟まれた三波川帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。 平成23年の台風等による集中豪雨（年間降水量3,515㎜：観測点本山）により、渓床及び渓岸の浸食を受け渓流内には大量の不安定土砂が堆積している状況である。 今後の降雨によっては、大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により、下流域の林道への被害も懸念される。 このことから土砂流出を抑制し、山脚を固定するため渓間工を施工することにより保全対象の保護及び荒廃渓流の復旧を図ることを目的とする。 ・主な事業内容　　渓間工3基 ・主な保全対象（治山事業）　林道200m ・総事業費　　94,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　360,266（千円） 総 費 用（C）　87,099（千円） 分析結果（B／C）　4.14
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。
評価結果	・必要性：　渓床に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚の固定及び渓床の安定が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所： 高知県本山町　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵(かん)養便益	洪水防止便益	8,907	
	流域貯水便益	3,405	
	水質浄化便益	8,153	
山地保全便益	土砂流出防止便益	269,510	
	土砂崩壊防止便益	70,291	
総 便 益 （B）		360,266	
総 費 用 （C）		87,099	千円
費用便益比	B÷C＝ 360,266 / 87,099 ＝ 4.14		

別紙様式２

整理番号　6

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成28年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	仁尾ヶ内山地区(におがうちやま) （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県北東部長岡郡大豊町北部の一級河川吉野川水系立川川の上流域であり愛媛県境に位置している。 地質構造は、中央構造線と御荷鉾構造線に挟まれた三波川帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。 平成23年の台風等による集中豪雨（年間降水量3,515㎜：観測点本山）により、渓床及び渓岸が浸食され、山腹崩壊が発生し、渓流及び山腹内には大量の不安定土砂が堆積している状況である。 今後の降雨によっては、大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により、下流域の林道への被害も懸念される。 このことから渓間工及び山腹工を施工し、土砂の流出防止、山脚の固定及び崩壊地の復旧を図ることを目的とする。 ・主な事業内容　渓間工4基、山腹工0.04ha ・主な保全対象（治山事業）　林道300m ・総事業費　118,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　303,174（千円） 総 費 用（C）　106,974（千円） 分析結果（B／C）　2.83
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定すること等により、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。 なお、当地区の事業実施に当たっては、緑の回廊に指定されていることから特に、環境に配慮した事業とすることが望ましい。
評価結果	・必要性：　渓床及び崩壊地に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚及び崩壊斜面の安定化が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所： 高知県大豊町　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵(かん)養便益	洪水防止便益	7,194	
	流域貯水便益	2,748	
	水質浄化便益	6,583	
山地保全便益	土砂流出防止便益	217,701	
	土砂崩壊防止便益	68,948	
総 便 益 （B）		303,174	
総 費 用 （C）		106,974	千円
費用便益比	B÷C＝ 303,174 / 106,974 ＝ 2.83		

別紙様式２

整理番号　7

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成28年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	矢筈谷山2地区(やはずだにやま) （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県東部安芸郡北川村東部の二級河川奈半利川上流域に位置している。 地質構造は、四万十帯に属し基岩は砂岩、泥岩で褶曲、破砕が激しく脆弱な地質である。 平成24年6月の梅雨前線による集中豪雨（6月降水量1031.5mm：観測点魚梁瀬）により、山腹崩壊が発生し、直下の渓床に大量の不安定土砂が堆積している状況である。 今後の降雨によっては、渓流に堆積した大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により地域住民等の重要な生活道である国道493号線への被害も懸念される。 このことから渓間工及び山腹工を施工し、土砂の流出防止、山脚の固定及び崩壊地の復旧を図り、もって地域住民等の安全・安心を確保することを目的とする。 ・主な事業内容　渓間工3基、山腹工0.20ha ・主な保全対象（治山事業）　国道493号線100m ・総事業費　150,000（千円）
費用対効果分析	総 便 益（B）　187,172（千円） 総 費 用（C）　137,024（千円） 分析結果（B／C）　1.37
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定すること等により、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。
評価結果	・必要性：　渓床及び崩壊地に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚及び崩壊斜面の安定が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便 益 集 計 表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所 ： 高知県北川村　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵（かん）養便益	洪水防止便益	3,916	
	流域貯水便益	2,114	
	水質浄化便益	5,068	
山地保全便益	土砂流出防止便益	106,515	
	土砂崩壊防止便益	69,559	
総 便 益 （B）		187,172	
総 費 用 （C）		137,024	千円
費用便益比	B÷C＝ 187,172 / 137,024 ＝ 1.37		

別紙様式２

整理番号　8

事　前　評　価　個　表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	八度山地区（やたびやま） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署

事業の概要・目的	当地区は、高知県東部安芸郡馬路村魚梁瀬の二級河川奈半利川上流域に位置している。 地質構造は、四万十帯に属し基岩は砂岩、泥岩で褶曲、破砕が激しく脆弱な地質である。 平成23年7月の台風6号、9月の台風12号及び15号に伴う集中豪雨（7月降水量1,392.5㎜、9月降水量1,794.0㎜：観測点魚梁瀬）により、渓床及び渓岸の侵食を受け、小規模な山腹崩壊も点在することから渓流内には大量の不安定土砂が堆積している状況である。 今後の降雨によっては、大量の不安定土砂の流出及び荒廃の拡大により、下流域の林道への被害も懸念される。 このことから土砂流出を抑制し、山脚を固定するため渓間工を施工することにより保全対象の保護及び荒廃渓流の復旧を図ることを目的とする。 ・主な事業内容　　渓間工5基 ・主な保全対象（治山事業）　林道300ｍ ・総事業費　　180,200（千円）
費用対効果分析	総 便 益（Ｂ）　　693,659（千円） 総 費 用（Ｃ）　　162,616（千円） 分析結果（Ｂ／Ｃ）　　4.27
森林管理局事業評価技術検討会の意見	渓床の不安定土砂を固定することにより、林地の保全及び保全対象の保護を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。
評価結果	・必要性：　渓床に堆積している不安定土砂を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、保全対象に被害がおよぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 ・有効性：　本事業の実施により、山脚の固定及び渓床の安定が図られ、水土保全機能の維持・向上が期待できることから有効性が認められる。

様式１

便　益　集　計　表

（治山事業）

事 業 名 ： 復旧治山事業　　都道府県名： 高知

施行箇所： 高知県馬路村　　（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備　　考
水源涵(かん)養便益	洪水防止便益	20,794	
	流域貯水便益	11,233	
	水質浄化便益	26,887	
山地保全便益	土砂流出防止便益	565,766	
	土砂崩壊防止便益	68,979	
総 便 益 （B）		693,659	
総 費 用 （C）		162,616	千円
費用便益比	B÷C＝ 693,659 / 162,616 ＝ 4.27		